

Can-do リスト

	聞くこと	話すこと		読むこと	書くこと
		やり取り	発表		
第一・二学年	ゆっくりはっきり話されれば、自分のことや身近な事柄について、簡単な語句を聞き取ることができる。	簡単に短い表現を用いて質問したり、答えたり、動作を交えながら事実や自分の気持ちを伝えることができる。			
第三学年	ゆっくりはっきり話されれば、自分のことや身近な事柄について、基本的な表現を理解して聞き取ることができる。	日常生活に関する身近な事柄について、コミュニケーションポイントに気を付けながら、2往復程度のやり取りができる。	日常生活場面において、自分のことについて2文以上で発表することができる。		
第四学年	ゆっくりはっきり話されれば、自分のことや身近な事柄について、基本的な表現を理解して聞き取ることができる。	日常生活に関する身近な事柄について、コミュニケーションポイントに気を付けながら、2往復程度のやり取りができる。	日常生活場面において、自分のことについて3文以上で発表することができる。		
第五学年	ゆっくりはっきり話されれば、日常生活に関する身近な事柄について、情報を整理して簡単な語句聞き取ることができる。	日常生活に関する身近な事柄について、コミュニケーションポイントに気を付けながら、3往復程度のやり取りができる。	日常生活場面において、自分のことについて4文以上で発表することができる。	アルファベットの大文字・小文字を読むことができる。教科書や板書の単語や英文を読むことができる。	アルファベットの大文字・小文字を4線上に書くことができる。語順を意識し、慣れ親しんだ英文を発表原稿に書くことができる。ヘボン式ローマ字を書くことができる。
第六学年	ゆっくりはっきり話されれば、自分のことや身近な事柄について、簡単な語句を聞き取ることができる。	日常生活に関する身近な事柄について、コミュニケーションポイントに気を付けながら、3往復以上のやり取りができる。	日常生活場面において、自分のことについて5文以上で発表することができる。	慣れ親しんだ英語表現について、その意味を理解しながら読むことができる。	語順を意識し、慣れ親しんだ英文についてワードリストを調べ、伝えたい内容を発表原稿にかくことができる。